

一般国道4号 北上花巻道路

計画段階評価 説明資料

1. 評価対象区間
2. 地域の概況と課題
3. 地域に配慮すべき事項
4. 政策目標の素案
5. 地域の将来像
6. 政策目標案
7. 関係団体ヒアリングの結果
8. 政策目標の設定
9. ルート帯案の検討
10. 自治体への意見照会結果
11. 対応方針の検討
12. 今後の進め方（案）

令和元年6月14日
国土交通省 東北地方整備局

1. 評価対象区間

◆計画段階評価当該地域である北上市、花巻市は、東北縦貫自動車道が縦断し、平成30年度に全線開通した東北横断自動車道釜石秋田線が横断するなど、広域ネットワークが結節しており、交通の要衝となっている。

1986 (S61)

東北縦貫自動車道弘前線
全線開通 (1989 (S61))

1997 (H9)

東北縦貫自動車道八戸線
八戸IC~安代JCT 全線開通 (1989 (H1))
東北横断道釜石秋田線
北上JCT~秋田北開通 (1997 (H9))

2019.6現在

東北横断自動車道釜石秋田線
全線開通 (2019 (H31))

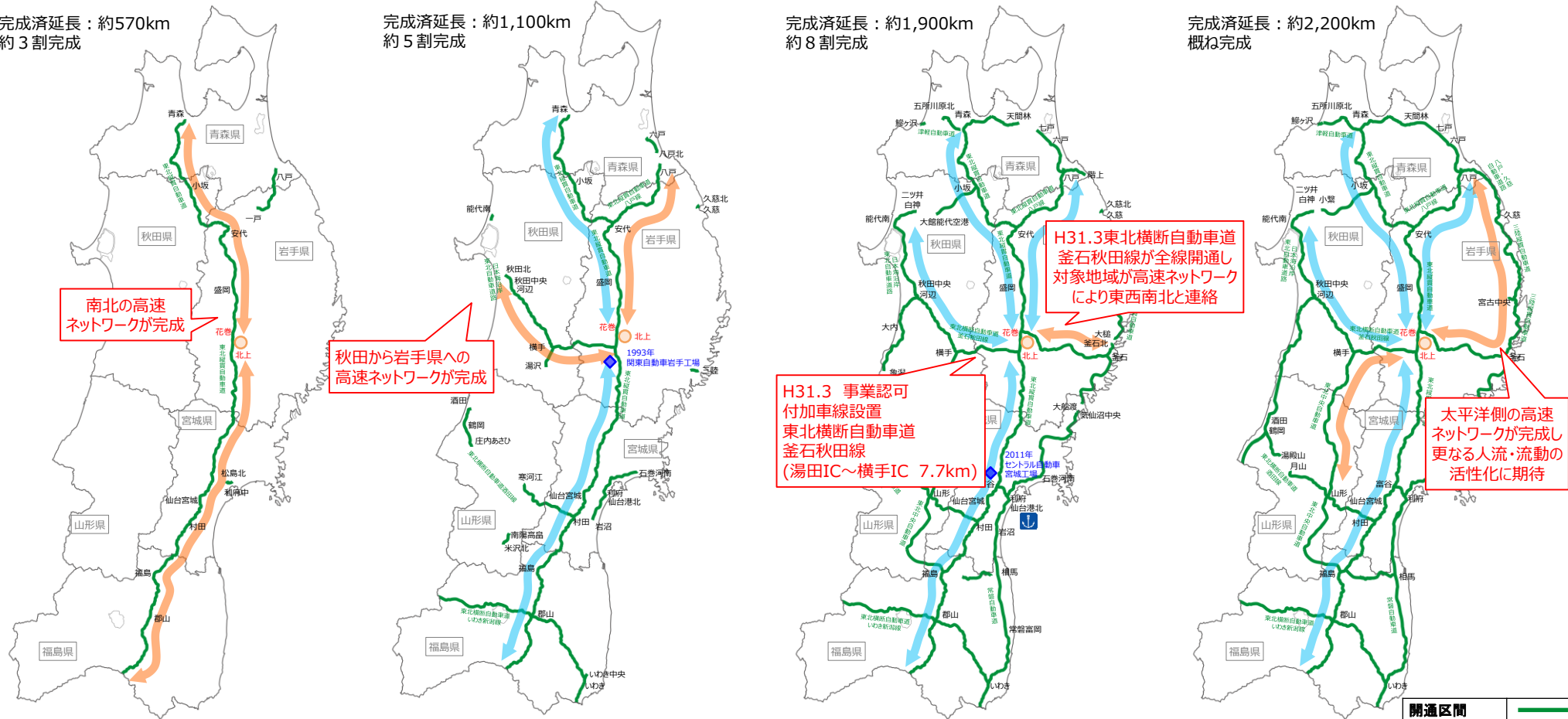
事業中区間整備後

完成済延長：約570km
約3割完成

完成済延長：約1,100km
約5割完成

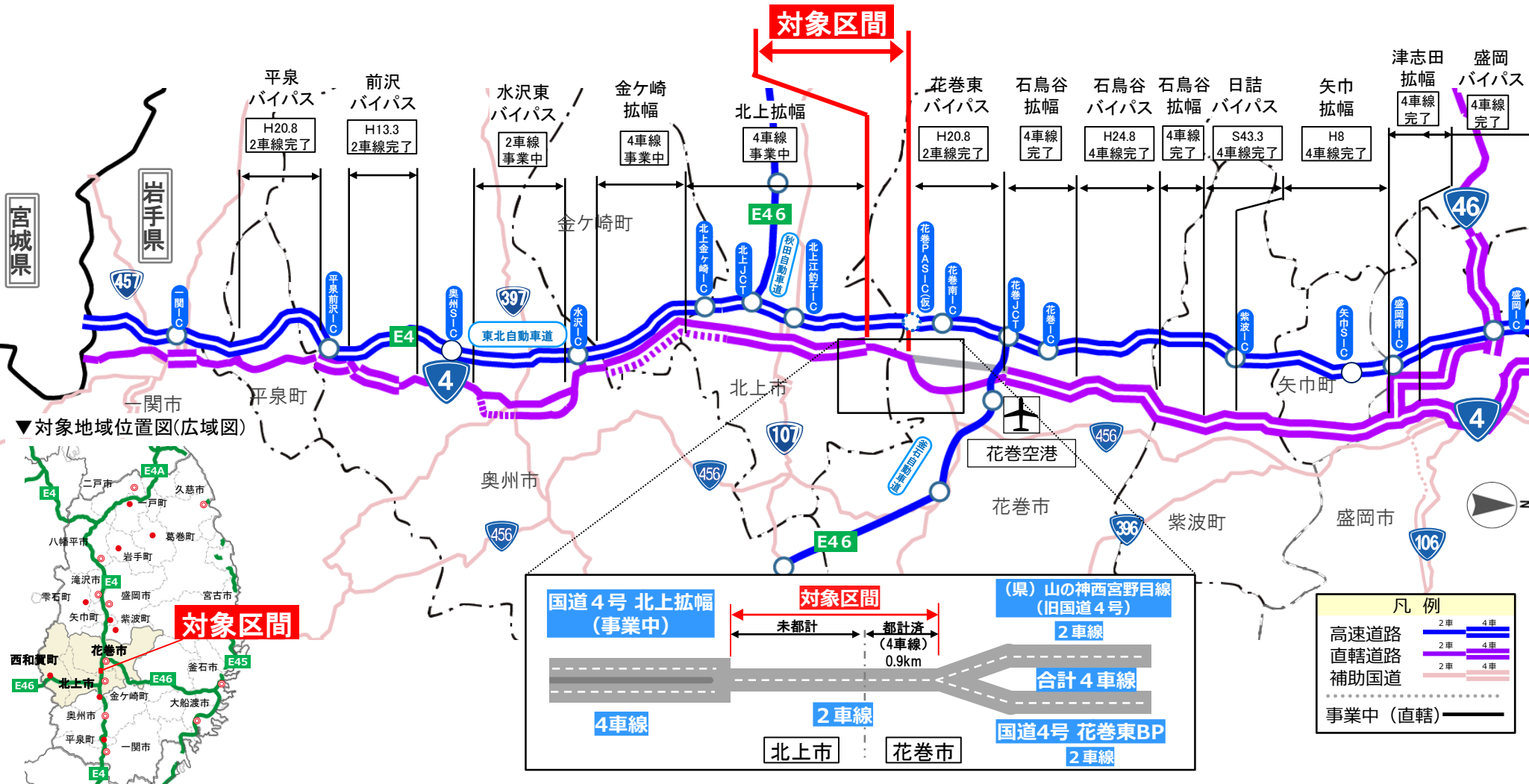
完成済延長：約1,900km
約8割完成

完成済延長：約2,200km
概ね完成



1. 評価対象区間

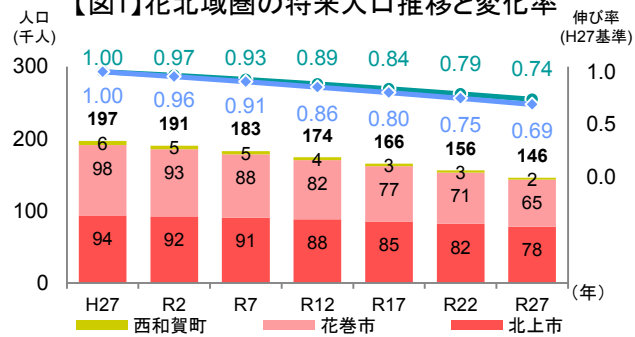
- ◆対象区間は、北上市と花巻市を結ぶ延長約3kmの2車線区間。
- ◆交通量の増加とともに盛岡市街から4車線化、バイパス整備が進められ、南側では北上拡幅、金ヶ崎拡幅、水沢東バイパスが事業中。北側は花巻東バイパスほか4車線事業が完了。
- ◆また、花巻市には県内唯一の空港が位置する。



2. 地域の概況と課題 (人口の推移)

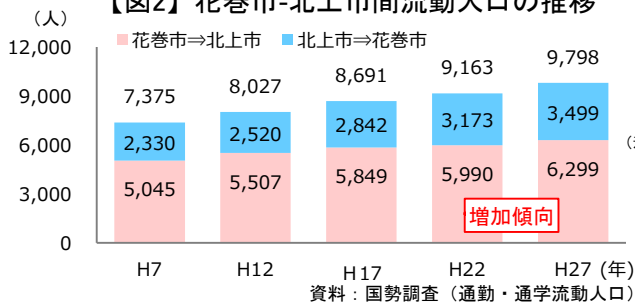
- ◆対象地域の人口は減少傾向にあるものの北上市と花巻市間の交流人口は増加傾向に有り、自動車保有台数も増加傾向。
- ◆北上市では直近で転入人口が転出人口を上回り、新設住居着工戸数も急増しており、対象区間周辺では人口も増加傾向。

【図1】花北地域圏の将来人口推移と変化率



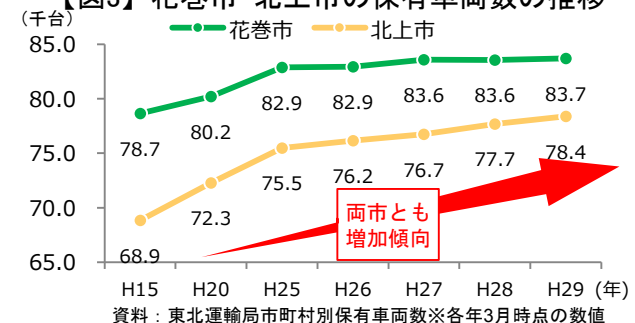
人口は減少傾向にあるものの対象地域は県平均と比べるとやや緩やか

【図2】花巻市-北上市間流動人口の推移



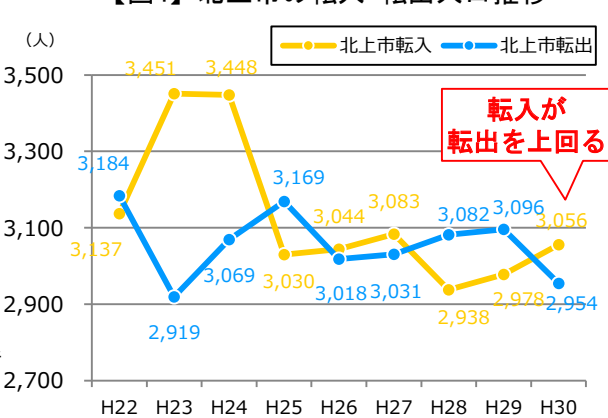
増加傾向

【図3】花巻市・北上市の保有車両数の推移



両市とも増加傾向

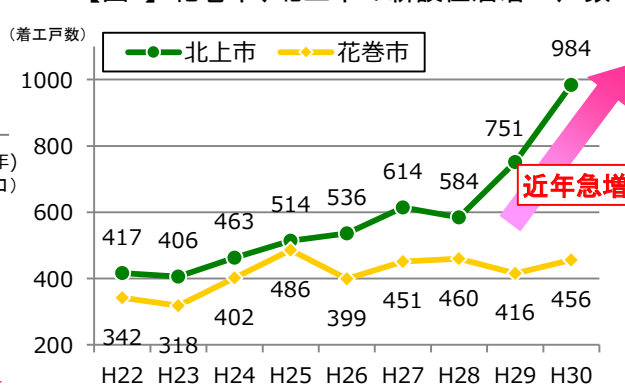
【図4】北上市の転入・転出人口推移



転入が転出を上回る

資料：岩手県 (新設住宅着工戸数)

【図5】花巻市、北上市の新設住居着工戸数



近年急増

資料：岩手県 (新設住宅着工戸数)

【図6】対象地域周辺の人口変化予測(H27→R2)

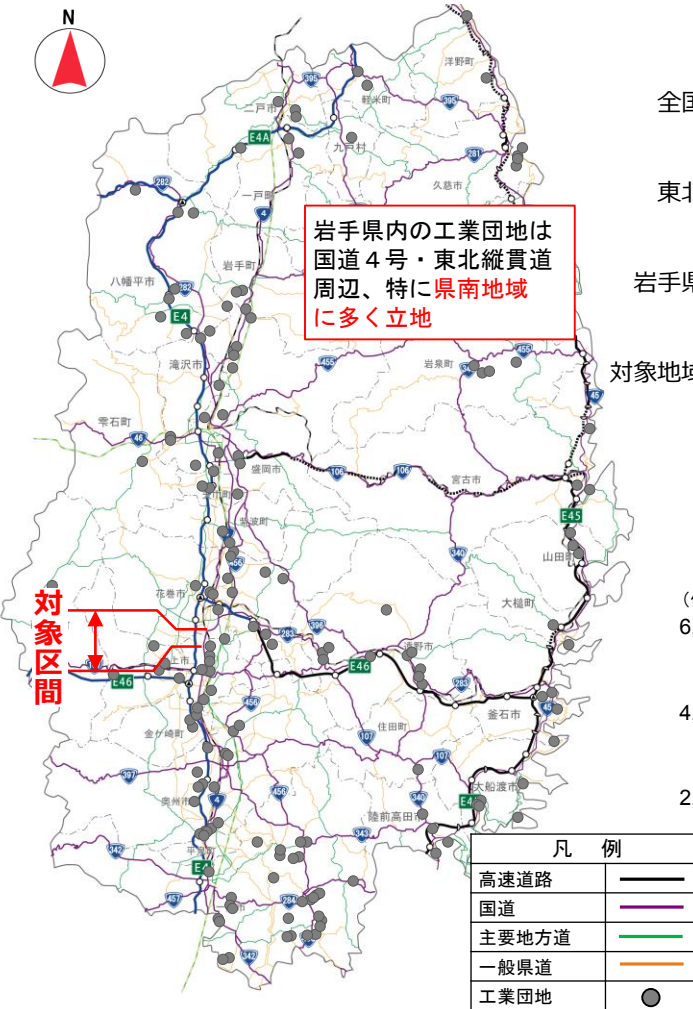


※1: H30国政局推計(500mメッシュ別将来推計人口)
 ※2: H27国勢調査(通勤・通学流動人口)

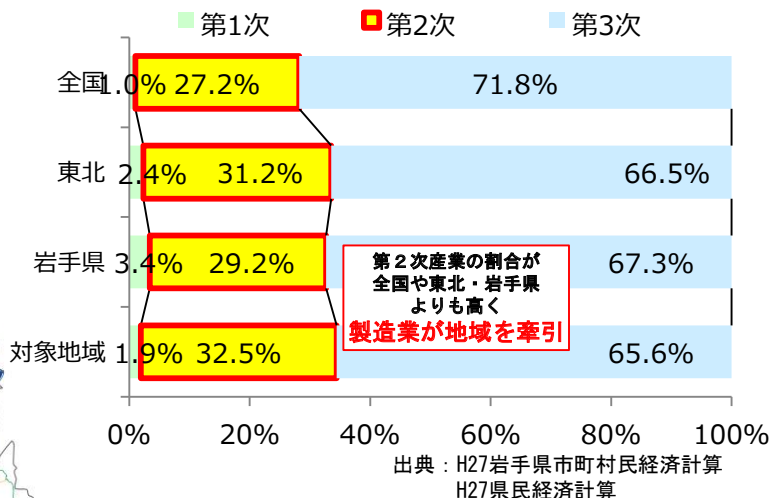
2. 地域の概況と課題（産業）

- ◆交通の要衝となっている対象地域周辺は工業団地が複数立地しており、総生産額における第2次産業の割合が約3割以上と全国や岩手県よりも高く、製造業が地域を牽引。
- ◆特に北上市では、高速道路の延伸とともに、製造品出荷額が増加している。
- ◆製造品出荷額の内訳では、電子部品・デバイス・電子回路製造業や、機械器具製造業等が地域の主力産業となっている。

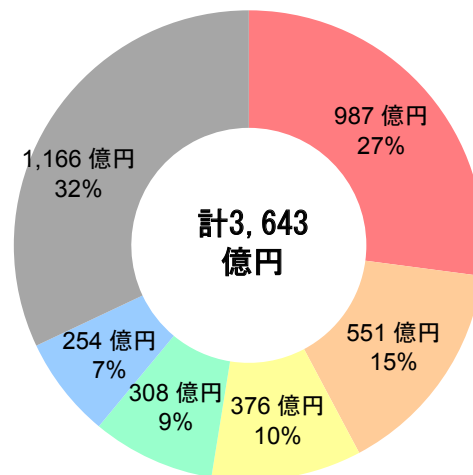
【図1】岩手県内の工業団地立地状況



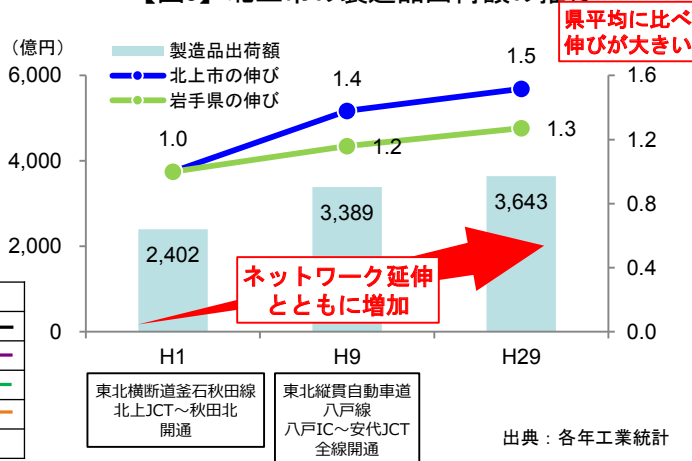
【図2】産業別総生産額の内訳



【図4】北上市の製造品出荷額の内訳



【図3】北上市の製造品出荷額の推移



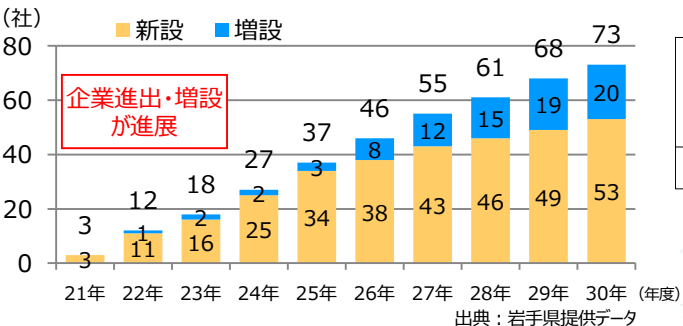
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 輸送用機械器具製造業
- 生産用機械器具製造業
- 金属製品製造業
- プラスチック製品製造業(別掲を除く)
- その他

電子部品・デバイス・電子回路製造業や、機械器具製造業等が地域の主力産業

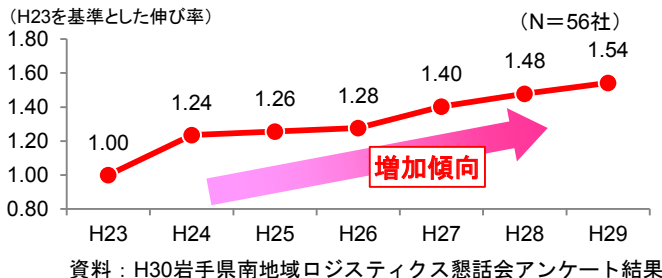
2. 地域の概況と課題 (企業進出)

- ◆ 当該地域ではH21年以降企業の新設・増設が進展し、周辺企業の従業員数、北上花巻地域の求人倍率も増加傾向。
- ◆ 更に、現在世界有数の半導体企業が北上市に新工場を建設中であり、2020年の出荷開始に向けて、更なる関連企業進出も見込まれ、北上市では北上工業団地(127ha)を更に約21ha拡張中。

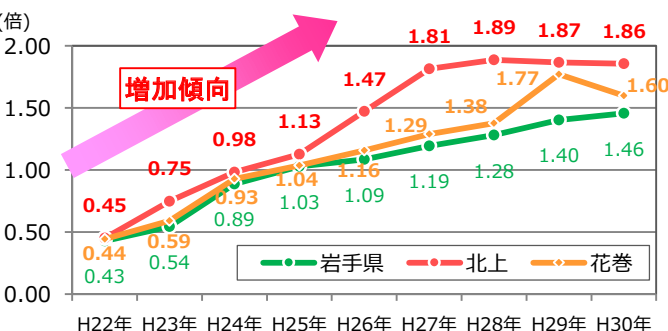
【図1】花巻市・北上市における企業進出の状況 (累計)



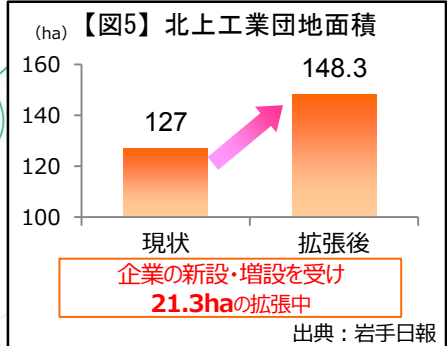
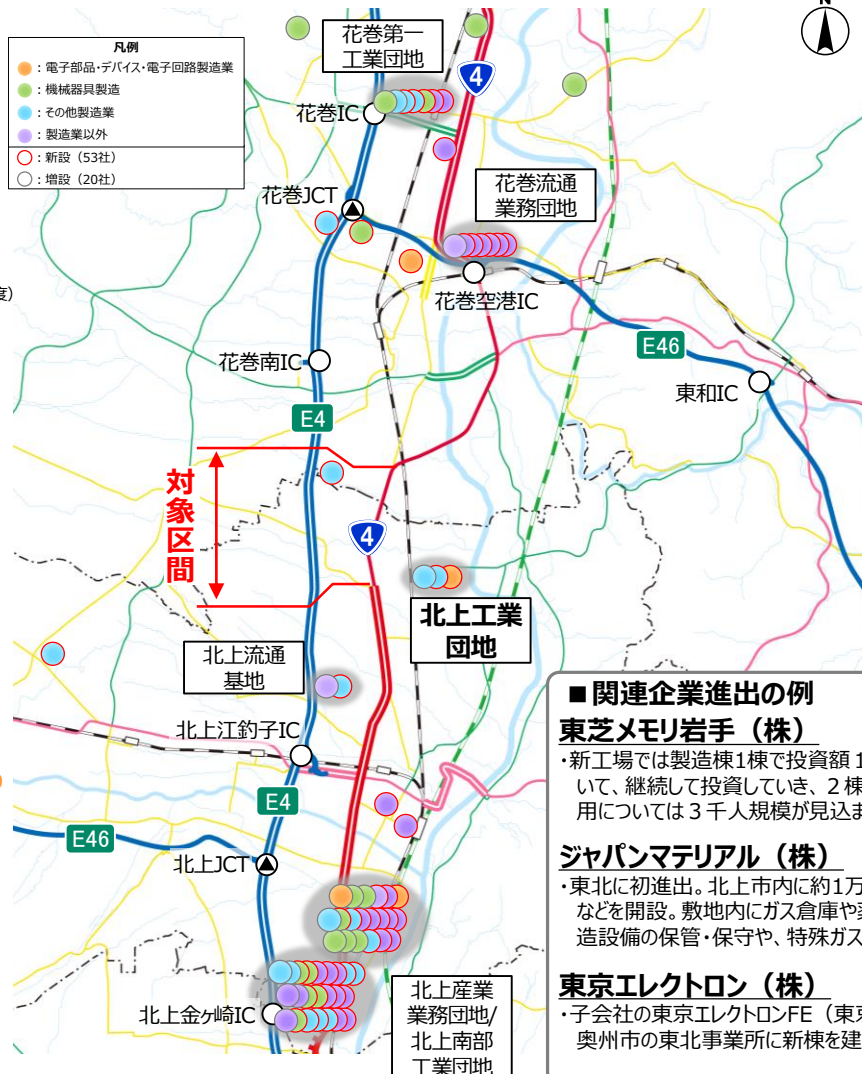
【図3】周辺企業の従業員数の推移



【図4】有効求人倍率 (北上・花巻)



【図2】花巻市・北上市における企業進出状況 (H21以降)



■ **東芝メモリ岩手(株)**

- ・H30.7着工、2020年量産開始
- ・**雇用 1,000人/投資額 1兆円規模**

工場建設状況 (H31.4時点)

■ **関連企業進出の例**

東芝メモリ岩手(株)

- ・新工場では製造棟1棟で投資額1兆円、雇用1,000人が見込まれる。今後の増設計画について、継続して投資していき、2棟目、3棟目もあり得ると話し、仮に3棟目が完成すれば雇用については3千人規模が見込まれる。

出典：岩手日報、H30.7.25

ジャパンマテリアル(株)

- ・東北に初進出。北上市内に約1万6500平方メートルの敷地を確保し、クリーンルームや加工場などを開設。敷地内にガス倉庫や薬品倉庫を併設する。東芝メモリの新工場を使う半導体製造設備の保管・保守や、特殊ガス供給装置の設計・施工などを担う予定。

出典：日本経済新聞、H30.7.25

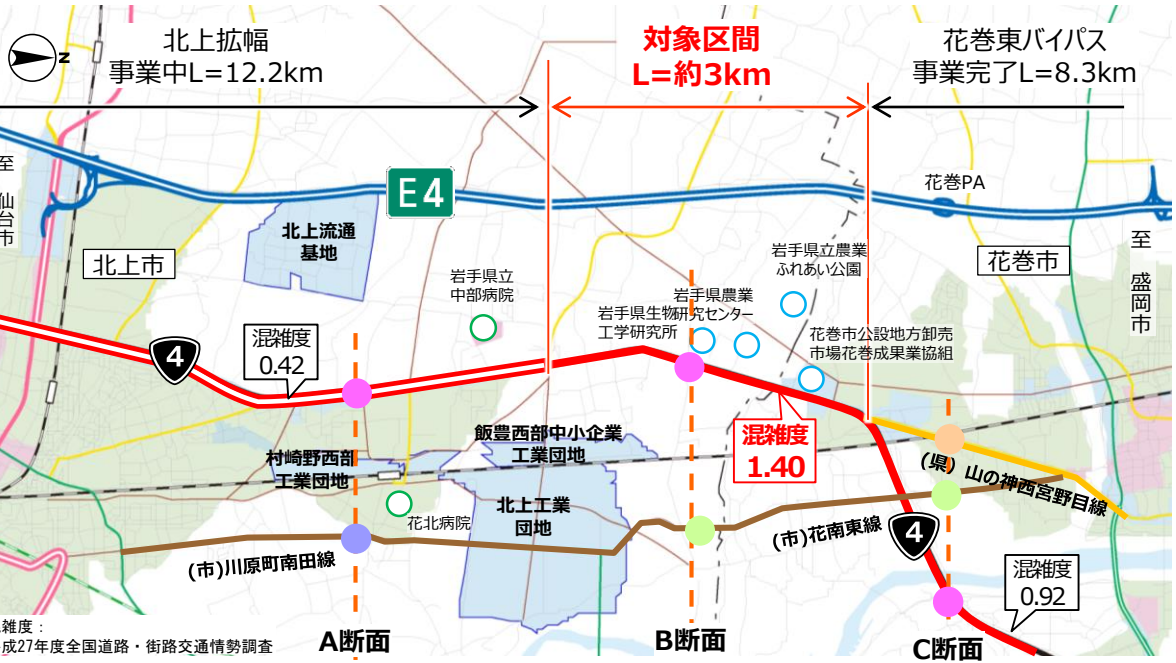
東京エレクトロン(株)

- ・子会社の東京エレクトロンFE(東京都府中市)が北上市に事業所を開設するほか、岩手県奥州市の東北事業所に新棟を建設、エッチング装置や成膜装置などを生産。

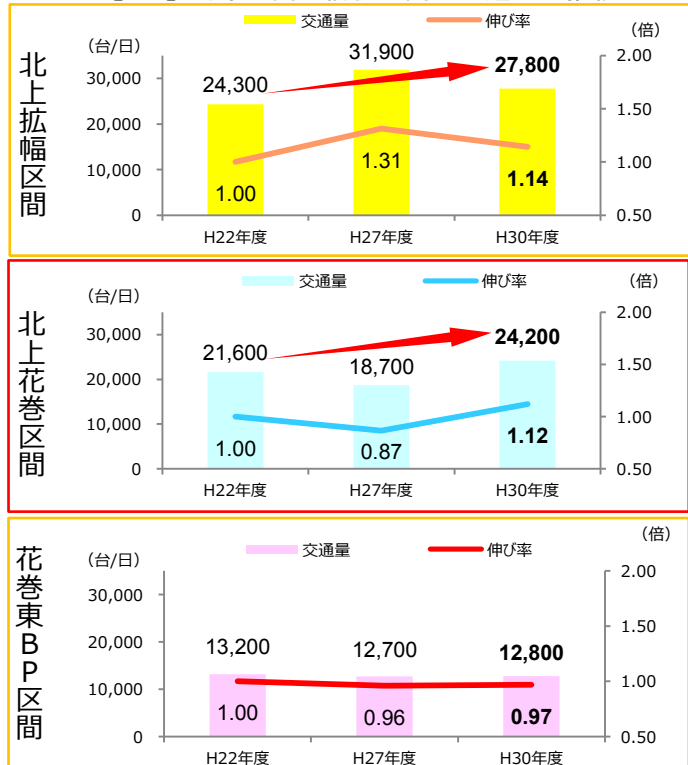
出典：日本経済新聞、H30.7.25

2. 地域の概況と課題（周辺道路の交通現況）

- ◆対象区間と北上拡幅区間は、交通量が増加傾向であり、対象区間は前後区間と比べ高い混雑度。
- ◆南北軸を断面として評価しても断面の交通量が断面合計の交通容量を超過しており、当該区間が交通のボトルネックとなり、円滑な物流を阻害。

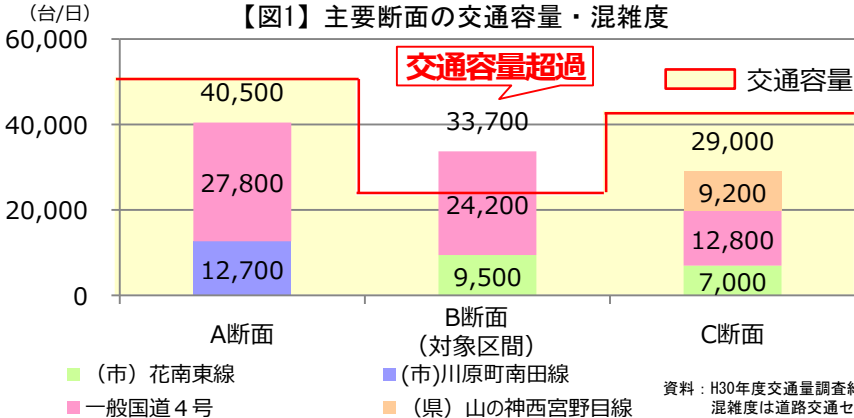


【図2】対象区間・前後区間の交通量の推移



交通量増加傾向

【図1】主要断面の交通容量・混雑度



■ 道路利用者の声

- ・出荷には主に国道4号の周辺道路を利用、国道4号は慢性的に混んでいるので避けている。
 - ・冬期の周辺道路は、路面状況が悪いので、混んでいる国道4号を使わざるを得ない。
 - ・大手企業や関連企業の進出後は交通の流れが大きく変わると思われ、更なる混雑が懸念される。
- ※北上市に立地する物流事業者ヒアリング結果 (H30.10)

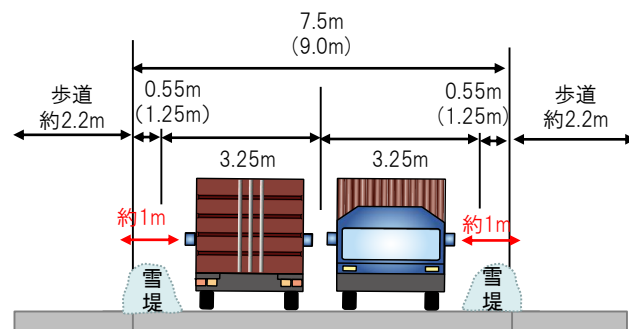
2. 地域の概況と課題（旅行速度）

- ◆対象区間は整備済み区間に挟まれた2車線区間となっており、前後区間に比べ大きく速度が低下。
- ◆さらに、ほぼ全区間に渡り適切な路肩幅員が確保されておらず、冬期は路肩に堆雪した雪の影響でさらに速度が低下。

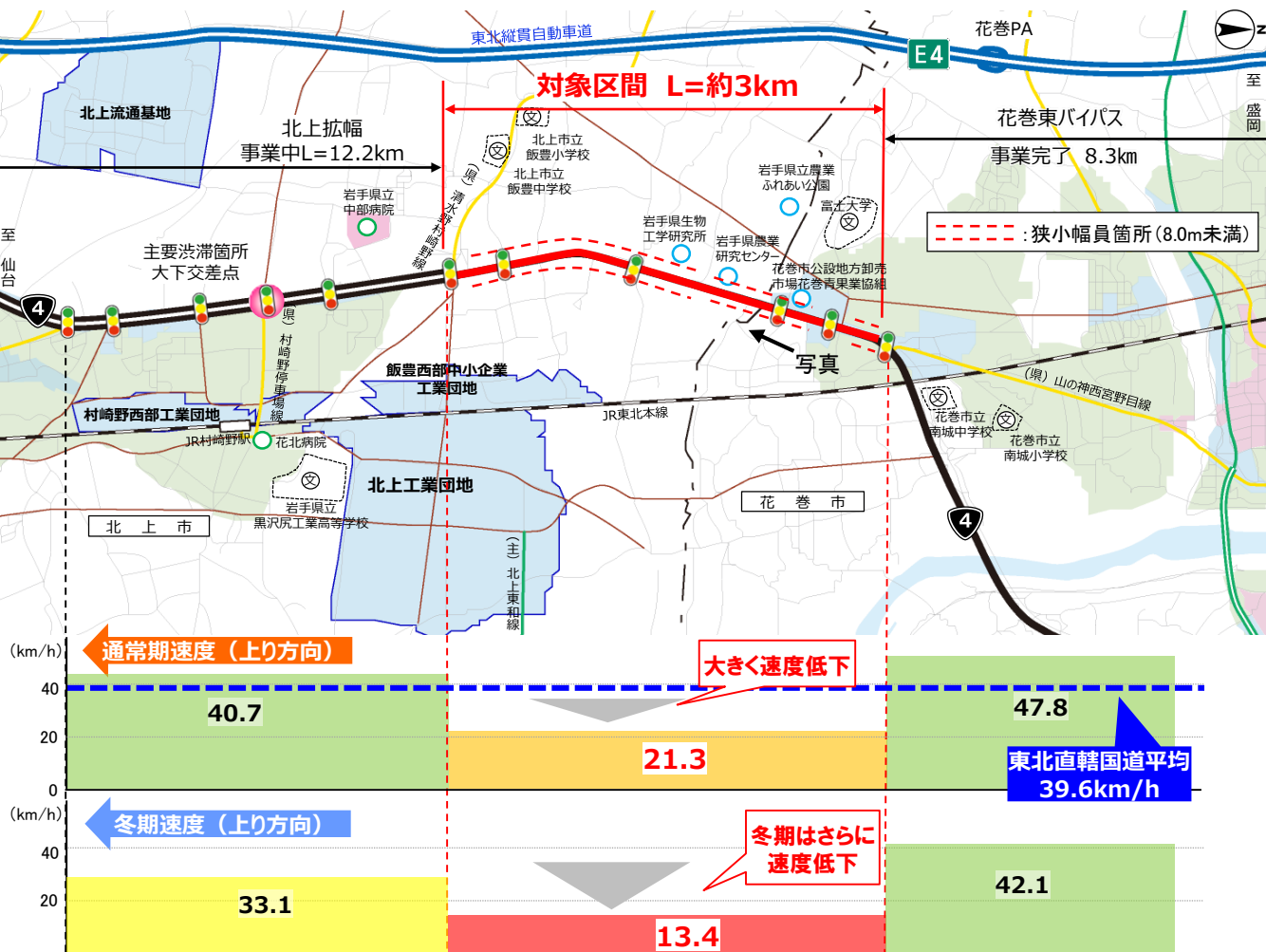
【写真】対象区間の渋滞状況



【図2】対象区間の幅員状況



※()は堆雪幅を確保した場合の適切な幅員



資料 ブロープデータ: 通常期H30.4-6 平日、冬期H29.12-H30.2朝ピーク時旅行速度
平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 混雑時上下最低速度平均(平地部の東北直轄国道)

【図1】国道4号対象区間と前後区間の速度状況

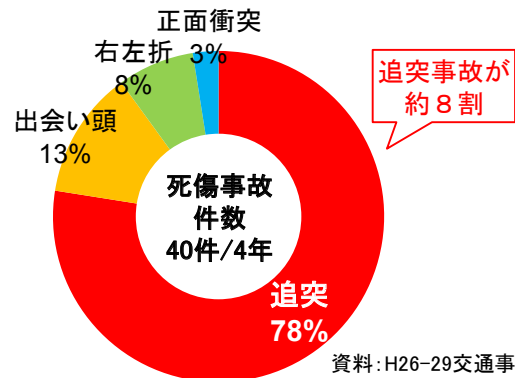
2. 地域の概況と課題 (交通事故)

- ◆対象区間では過去10年間で死亡事故が3件発生。
- ◆4車線から2車線に車線が減少する北上工業団地口交差点では、県平均の約10倍の死傷事故が発生。
- ◆混雑に起因する追突事故が約8割を占め、更なる交通需要の増加が見込まれる中、安全・安心な交通の確保が課題。

【図1】国道4号対象区間と前後区間の事故発生度状況



【図2】対象区間の交通事故類型

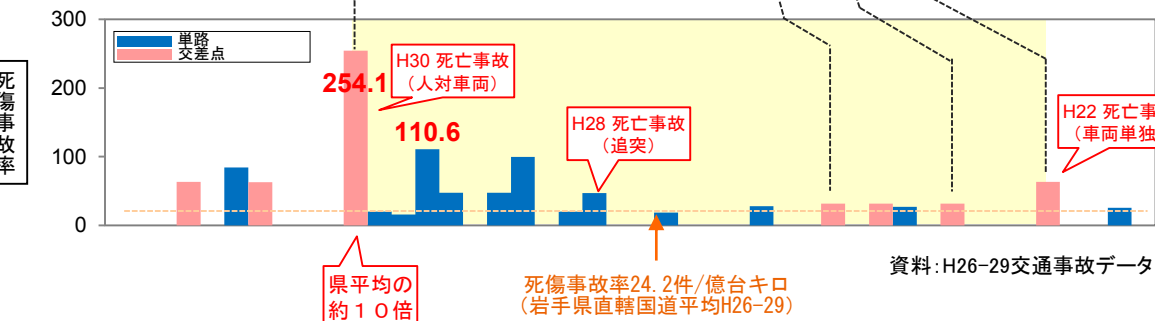


【写真】北上工業団地口交差点の状況



■ 道路利用者等の声

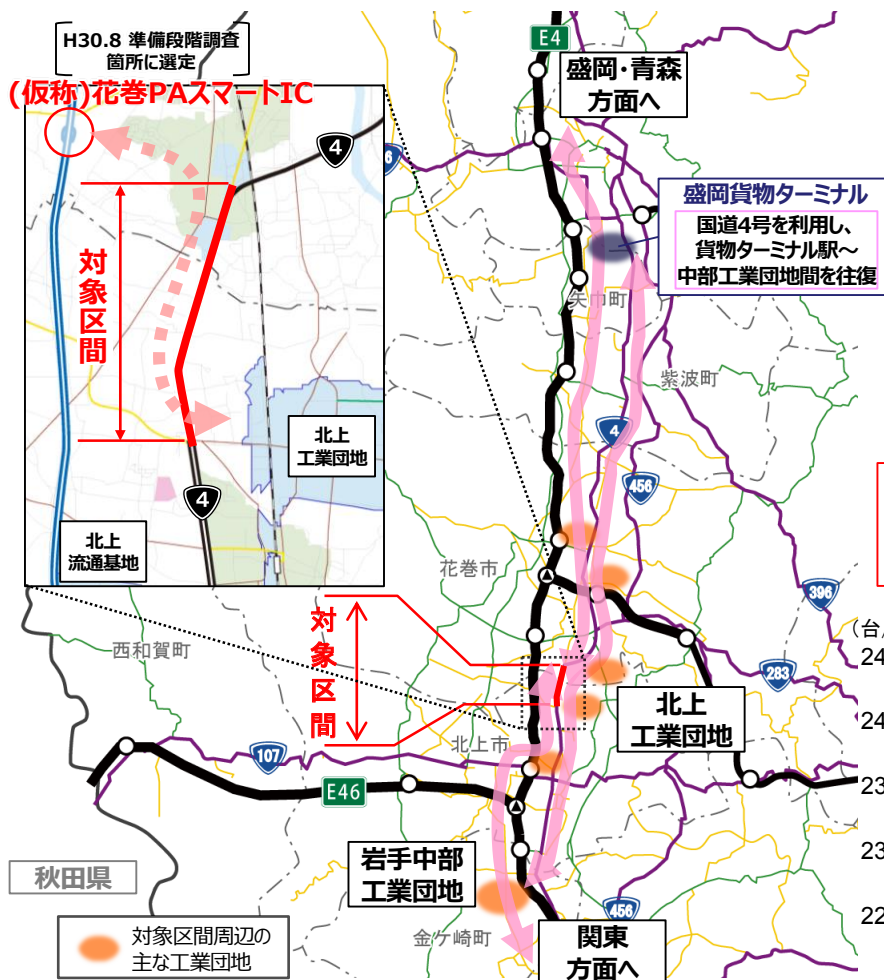
- ・北上工業団地口交差点の4車線から2車線になる箇所は危険を感じる。
※H31.4北上商工会議所ヒアリング結果
- ・追突事故は混雑する時間帯に多いことから、渋滞によるノロノロ運転がよそ見を誘発して事故に繋がっていると考えられる。
※H31.4警察署ヒアリング結果



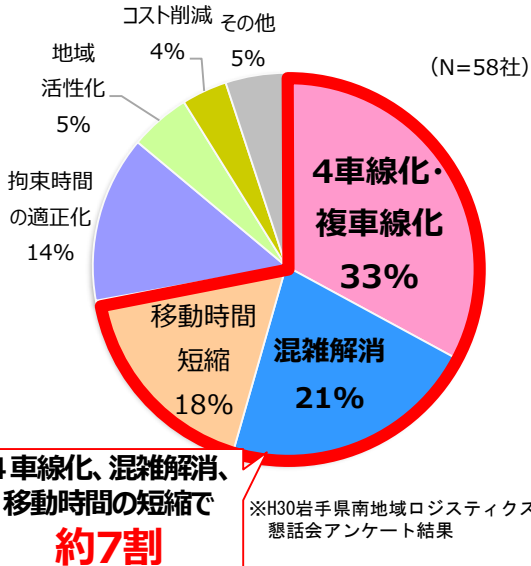
2. 地域の概況と課題（物流への支障）

- ◆対象区間は、南北方面に製品を輸送する際の物流ルートとして利用されているが、輸送ルート上問題が多い区間として利用企業から指摘されており、4車線化、混雑解消、移動時間短縮など、円滑な交通確保が課題。
- ◆さらに花巻PAスマートICの整備により、今後国道4号の交通需要の増加が見込まれる。

【図1】対象区間を利用する流動イメージ

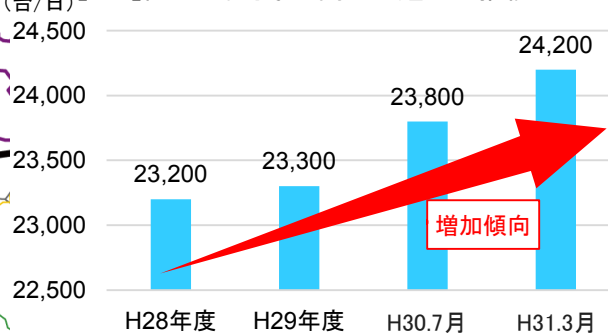


【図2】対象地域周辺企業が2車線区間に期待する内容



4車線化、混雑解消、
移動時間の短縮で
約7割

【図3】国道4号対象区間の交通量の推移



※出典：北上市交通量調査結果、岩手河川国道事務所交通量調査結果

【写真】対象区間の渋滞に巻き込まれる貨物車両



■ 道路利用者の声

- ・北上市や奥州市への製品輸送時に対象区間を利用しているが、冬期の渋滞はかなり時間がかかるため、入荷時間を過ぎないように気をつけている。
(H30.11花巻市企業ヒアリング結果)
- ・花巻市からの通勤者の通勤時間のロクスになっている
- ・対象区間は渋滞しており、冬期、花巻市内から通勤する社員の通勤時間が倍以上かかる
- ・裏道を使用し危険が増している
- ・4車線化による渋滞緩和で従業員の出勤所要時間の短縮に期待

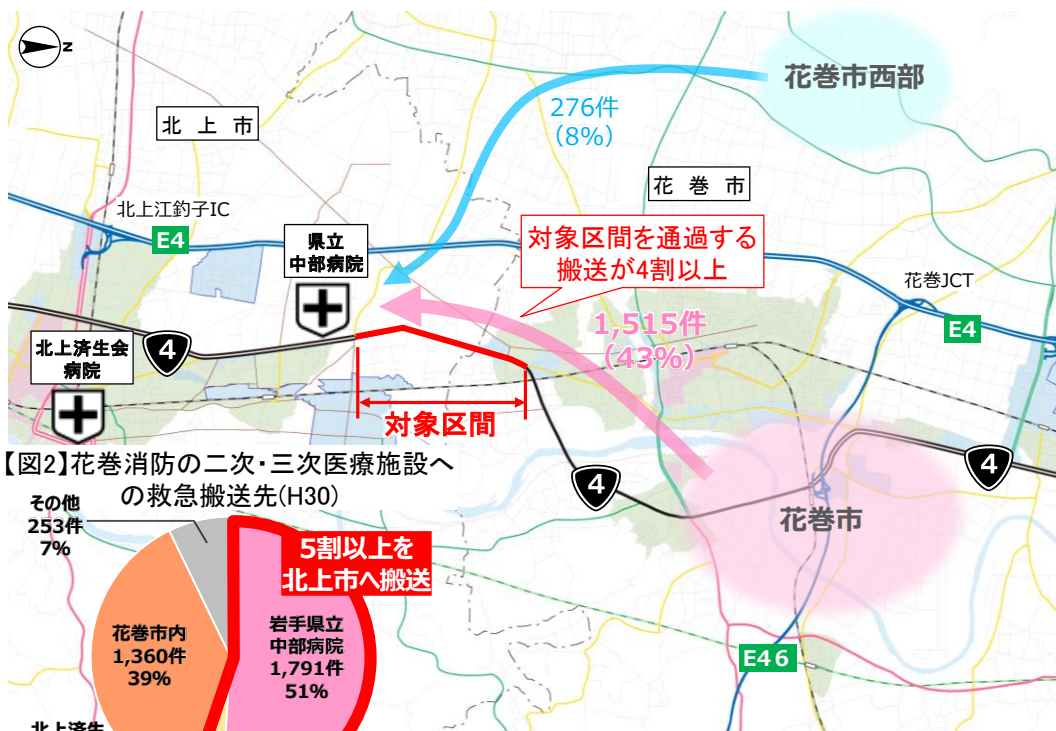
(H30岩手県南地域ロジスティクス懇話会アンケート結果)

※H30企業ヒアリング結果、
H30岩手県南地域ロジスティクス懇話会アンケート結果より作成

2. 地域の概況と課題（医療）

- ◆花巻市における救急搬送先では、全体の約5割が北上市の病院へ搬送されており、年間の救急出動件数も増加傾向にある。
- ◆当該区間は2車線区間で幅員が狭く、緊急車両の走行に支障をきたすなど、円滑かつ安全走行の確保に課題。

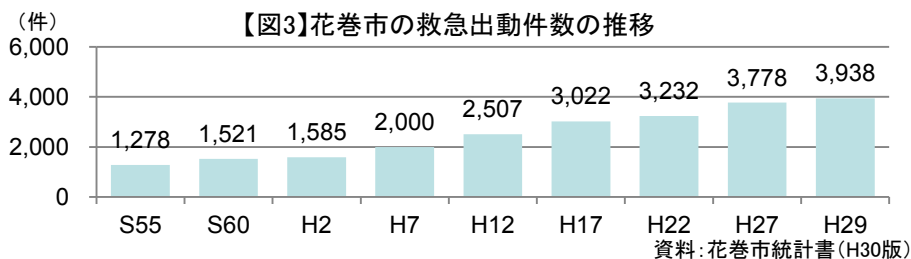
【図1】花巻市から岩手県立中部病院への署別救急搬送件数



【図2】花巻消防の二次・三次医療施設への救急搬送先(H30)



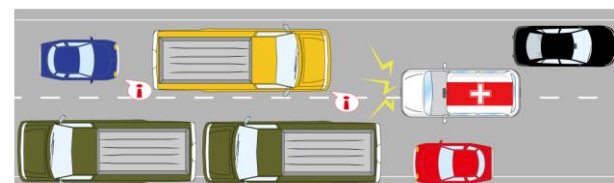
【図3】花巻市の救急出動件数の推移



【写真】対象区間を走行する緊急車両



【図4】2車線区間における救急搬送時の問題点



■ 県立中部病院の声

- ・救急搬送時において、朝方の出勤時間帯および夕方の帰宅時間帯において渋滞の発生により救急搬送に影響が出ている。
- ・2車線区間の拡幅は救急搬送ルートとしての活用に大いに期待される。

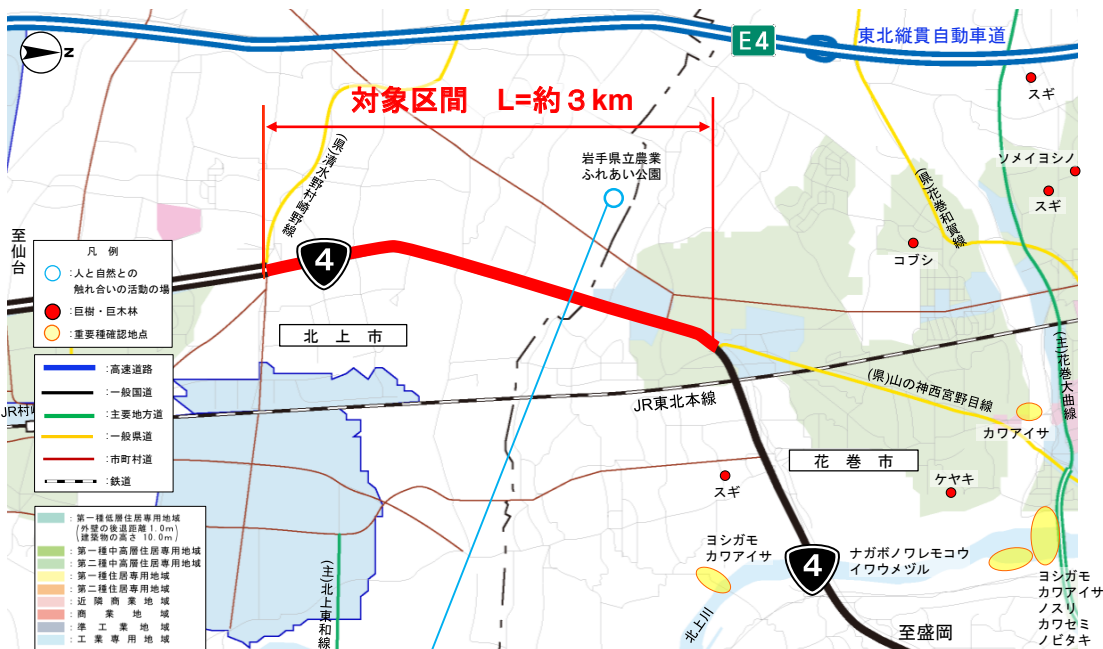
■ 消防署の声

- ・花巻市内には脳疾患や心疾患、消化器（内視鏡）等の救急・夜間対応可能な病院がないため、県立中部病院へ搬送。
- ・対象区間は2車線で幅員が狭く、一般車の退避スペースが全く無い箇所がある。通勤時間帯などで渋滞しているときに大型車で道を塞がれると、前後にも余裕が無いため救急車両が追い越せなくなってしまう。

資料：H31.4ヒアリング結果

3. 地域に配慮すべき事項（自然環境）

- ◆既存文献からは、重要な動植物が生息・生育している可能性はあるが、対象区間周辺に配慮が必要な生息環境は確認出来ない。



■岩手県立農業ふれあい公園

人と自然との触れ合いの活動の場として、公園内には散策路のほか、広場や池等が整備され、身近な散策休憩地、野外活動地として活用することができる。

【重要な種の選定基準】

- 環：環境省レッドリスト2019（平成31年 環境省）
CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧種、DD：情報不足
- 県：いわてレッドデータブック（平成26年 岩手県）
A：Aランク、B：Bランク、C：Cランク、D：Dランク、DD：情報不足

動物

対象区間周辺で確認されている重要な動物は以下のとおりである。

鳥類	ハイタカ（環NT、県C）、サシバ（環VU、県B）、ノスリ（県D）、カワセミ（県D）、ヤマセミ（県D）、サンショウクイ（環VU、県C）
哺乳類	ツキノワグマ（県D）、カモシカ（県D）
両生類	アカハライモリ（環NT）、トノサマガエル（環NT）
魚類	ドジョウ（環NT）
昆虫類	スジグロチャバネセセリ（環NT）、ヒメギフチョウ（環NT、県C）、ヒメシロチョウ（環EN、県：C）、ウラギンスジヒョウモン（環VU）

※出典：環境省「自然環境保全基礎調査」



写真出典：「いわてレッドデータブック岩手の希少な野生生物web版」

植物

対象区間周辺で確認されている重要な植物ない。
（対象区間近傍の北上川では、ナガボノワレモコウ（県B）及びイワウメヅル（県C）の記録がある）

4. 政策目標の素案（道路・地域の現況とその要因）

	課 題	要 因
渋滞	<p>○2車線区間で交通混雑が発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2車線に約2万台/日の交通が集中。混雑度1.40を示し、走行速度低下が大きく、冬期はさらに速度低下が大きい ・企業集積の進行により交通量が増加傾向 	<p>○交通容量不足</p> <p>⇒対象地域では南北に移動する道路が限られており、主要幹線道路である国道4号に交通が集中し、渋滞が発生</p>
物流	<p>○輸送ルートが脆弱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域には、自動車や精密機器などの産業集積に加え新たな企業立地進んでいるが、国道4号の混雑により物流経路の速達性に不安 	<p>○物流のボトルネック</p> <p>⇒対象区間が工業団地間や高速道路への物流のボトルネックとなっておりアクセス性・定時制が低下</p>
事故	<p>○事故多発箇所が存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去10年間で3件の死亡事故が発生 ・4車線から2車線へ合流する交差点部は県平均の約10倍の死傷事故率 ・混雑に起因する追突事故が事故全体の8割を占めており安全・安心な交通の確保が課題 	<p>○車線減少や交通混雑による加減速</p> <p>⇒車線の減少や交通混雑により、交通の錯綜や車両間の速度差が発生し事故を誘発</p>
医療	<p>○渋滞により患者の安定搬送に支障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市からの救急搬送は、約5割が北上市へ搬送 ・2車線区間は幅員が狭く、緊急車両の走行に支障を来すなど、円滑かつ安全走行の確保が課題 	<p>○幅員狭隘区間による走行の阻害</p> <p>⇒幅員狭小により緊急車両走行時の待避スペースが未確保</p>

政策目標（素案）

交通容量の確保による渋滞の緩和

円滑な物流ルートの確保

交通安全の確保

安定した救急搬送ルートの確保

岩手県の総合計画

【岩手県】いわて県民計画	内容（抜粋）
<p>社会基盤 ～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～</p>	<p>■産業振興や交流を支える道路整備 ・物流の効率化など生産性向上による産業振興を支援するため、内陸部と物流拠点である港湾を結ぶ路線や、工業団地、インターチェンジへのアクセス道路など、物流の基盤となる道路の整備を推進 【円滑な物流ルートの確保】</p> <p>■安全・安心を支える社会資本の整備 ・日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急医療機関へのアクセス向上など地域の実情に応じた道路整備や、冬期間の交通安全対策、通学等の安全確保のため歩道の整備などを推進 【交通容量の確保による渋滞の緩和】、【交通安全の確保】、【安定した救急搬送ルートの確保】</p>
<p>地域振興プラン ～県南広域振興圏～</p>	<p>■産業を振興する道路整備の推進 ・県内で最もものづくり産業の工業集積が進む県南地域において、工業製品等の輸送利便性を向上させ産業振興を支援するため、内陸部の工業・物流団地間相互やインターチェンジを結び、生産性の向上につながる道路整備を推進 【円滑な物流ルートの確保】</p>

花巻市の総合計画

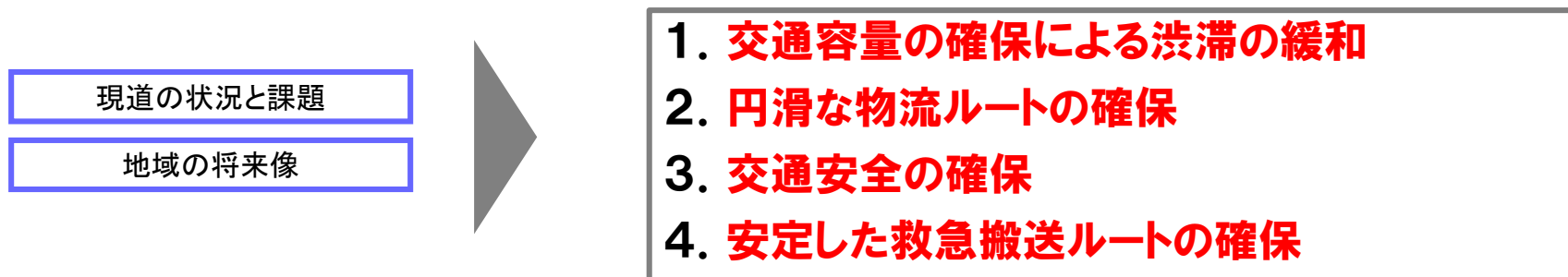
【花巻市】まちづくり総合計画	内容（抜粋）
<p>生活基盤の充実</p>	<p>■道路環境の充実 ・国道4号の山の神・村崎野間はボトルネックとなっていて、慢性的な渋滞がおきているなど、国・県道についても更なる整備が必要 【交通容量の確保による渋滞の緩和】</p> <p>・安全で利便性の高い道路の整備をはじめ、利用しやすい公共交通の確保 【交通容量の確保による渋滞の緩和】、【交通安全の確保】</p>

北上市の総合計画

【北上市】総合計画	内容（抜粋）
<p>ひと・技・資源を組合せ 活気うまれるまちづくり</p>	<p>■足腰の強い地域産業構造の構築 ・産業活動の向上を図るため、国道4号拡幅の整備を促進するほか、広域交通の結節点となる駅、中核病院、工業団地等の主要施設を結ぶ市内幹線道路網の整備を推進 【円滑な物流ルートの確保】、【安定した救急搬送ルートの確保】</p>
<p>誰もが快適に暮らし続けられる まちづくり</p>	<p>■道路・情報ネットワークの充実 ・日常生活の利便性向上や安全・安心な交通を確保するために道路網の形成や冬期交通機能の確保 【交通容量の確保による渋滞の緩和】、【交通安全の確保】、【安定した救急搬送ルートの確保】</p>

◆現道の課題を解消するための整備方針を検討

◇現道の課題を早期に解消する政策目標を設定



◇対策案の検討方法

【交通混雑関連】

- ・交通混雑を解消した円滑な道路とは

【企業活動関連】

- ・混雑を回避した安定的な物流ルート確保し、産業活動を支援する道路とは

【交通事故関連】

- ・死傷事故率の高い区間の安全性を確保する道路とは

【救急搬送関連】

- ・安定した救急搬送環境をもたらす道路とは

当該地域に求められるサービスレベルとは

- ①走行性・安全性ともに幹線道路として通年で必要な機能を有すること
- ②円滑かつ安定した物流経路となるネットワークを確保すること

北上花巻地域の課題を解決し、地域の将来像を実現する案を設定

7. 関係団体ヒアリングの結果（業種別の傾向）

- ◆「交通混雑に関する意見」や「企業活動に関する意見」は、全業種で挙げられ課題として認識されている。
- ◆「交通安全に関する意見」や「救急搬送に関する意見」についても、関連する業種で意見が挙げられている。
- ◆「道路整備の必要性」は、全業種で挙げられている。

意見分類		業種								
		自治体	警察機関	教育機関	経済団体	トラック協会	公共交通機関	消防機関	医療機関	沿線企業
課題	交通混雑に関する意見	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	企業活動に関する意見	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	交通事故に関する意見	●	●	●	●	●	—	—	—	●
	救急搬送に関する意見	●	—	—	●	—	—	●	●	●
道路整備の必要性		●	●	●	●	●	●	●	●	●

凡例
 ●：言及あり
 —：言及なし

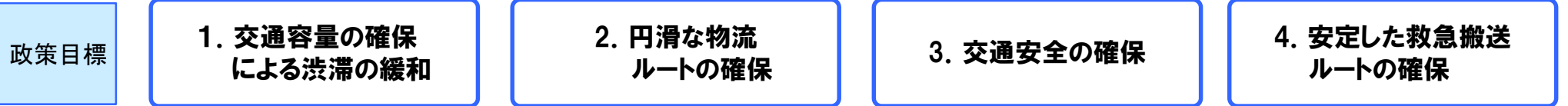
7. 関係団体ヒアリングの結果

- ◆「交通混雑に関する意見」、「企業活動に関する意見」に関する意見が多く、多くの団体で課題と感じている。
- ◆地域の課題や道路整備の必要性について、業種に限らず、類似した意見を持っており、地域として道路課題の解消を望んでいる声が多い。

項目	主な意見
課題と道路整備の必要性の意見	
交通混雑に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道4号の対象区間は流れが悪く動かないイメージが強い。対象区間の円滑化に期待している【自治体】 ● 工業団地入口交差点からの北進車両は、車線の絞りこみがあるため第2レーンを多く走行しているが、工業団地へ右折する車両の増加により直進レーンまで滞留車両が進入し、直進交通を阻害している。4車線化されれば流れがよくなり、利便性が向上するのは間違いない。【警察機関】 ● 対象区間は2車線のため、右折する車がいると後ろが詰まる。対向車が多く、なかなか右折できない状況。地域にとっても4車線化が必要【教育機関】 ● 国道4号の渋滞を避けて市道を通る人もいるが、今は市道が裏道の役割を果たせないくらい混雑しており、国道4号に交通が戻ってきている。国道4号の4車線化には大いに期待している。【経済団体】【トラック協会】 ● 路線バス運行時、この区間での渋滞による遅延があるので、早期4車線化に期待している。【公共交通機関】 ● 病院の立地の関係上、通院手段としても道路利用が不可避で有り、その利便性および安全性が向上すれば病院としてもメリットが大きい。【医療機関】 ● 対象区間のみ2車線となっているため、通勤時間帯の混雑が激しく、早期の4車線化を要望するとともに、拡幅による混雑緩和に期待。【沿線企業】
企業活動に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 混雑が激しく、企業誘致や物流の面で一番課題を感じている。渋滞の解消による物流の円滑化、企業誘致には非常に期待。【自治体】 ● 花巻市～北上市間での人・モノの動きで国道4号をよく利用している。企業にとっては、渋滞による遅延が無くなるのが望ましい。【自治体】 ● 企業進出等により周辺地区のトラック台数や物流業者も増加している。今後まだまだ交通量が増えてくると思う。【トラック協会】【沿線企業】【教育機関】 ● 大手企業の進出により今までに無いくらい人・モノが動くエリアになると思う。対象区間の早期整備を期待している。【トラック協会】 ● 渋滞で効率が悪い地域だと思われる地域活性化に悪影響。継続した地域の発展のためには円滑な物流は欠かせない。【沿線企業】 ● 対象区間が4車線化され、円滑な物流が可能となった場合、輸送効率は向上すると思う。【沿線企業】
交通事故に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道4号の抜け道として利用され、大型車などの物流車両が広くない市道を通ると、朝夕は子供たちの通学の際、農作業される高齢者のことを考えれば、歩行者に対する危険度も高くなっていく。【自治体】 ● 2車線から1車線になるところは、無理に入ってくる車もあり危険。【教育機関】【経済団体】【沿線企業】 ● 追突事故は混雑する時間帯に多いことから、渋滞によるノロノロ運転がよそ見を誘発して事故に繋がっていると考えられる。【警察機関】
救急搬送に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝方の出勤時間帯および夕方の帰宅時間帯において渋滞の発生により救急搬送に影響が出ている。【医療機関】 ● 対象区間は2車線で幅員が狭く、一般車の退避スペースが全く無い箇所がある。通勤時間帯などで渋滞しているときに大型車で道を塞がれると、前後にも余裕が無いため救急車両が追い越せなくなってしまう。【消防機関】【沿線企業】 ● 片側1車線では渋滞しており、追い越し時の危険や揺れによる患者への負担が大きいため整備に期待している。【消防機関】 ● 前後区間に比べてかなりスピードが落ちてスムーズに通行できない。片側1車線の区間は不便を感じており、解消を期待する。【消防機関】
その他意見	
住民生活・生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 花巻市から北上市、北上市から花巻市への通勤通学者は増えている。【自治体】 ● 裏道となる市道では、大型車が増えたことにより路面損傷が出てきている。【自治体】 ● 北上市の企業進出等の影響で将来の児童数は増加する予測であり、今後も安全対策を徹底する必要がある。【教育機関】 ● 見学の時など対象区間を通過する際には時間が読めず、はらはらすることがある。【教育機関】
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 花巻空港から平泉～花巻温泉に宿泊するというようなルートをとる場合、国道4号線を軸に考えることになる【自治体】

◆地域の意見聴取を踏まえ、「交通容量の確保による渋滞の緩和」、「円滑な物流ルートの確保」、「交通安全の確保」、「安定した救急搬送ルートの確保」の4項目を政策目標とする

	交通混雑	企業活動	交通事故	救急医療
地域・道路の状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> 2車線区間で交通混雑が発生 ⇒2車線に約2万台/日の交通が集中。混雑度1.40を示し、走行速度低下が大きく、冬期はさらに速度低下が大きい。 ⇒企業集積の進行により交通量が増加傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 輸送ルートが脆弱 ⇒沿線地域には、自動車や精密機器などの産業集積に加え新たな企業立地が進んでいるが、国道4号の混雑により物流経路の速達性に不安。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故多発箇所が存在 ⇒過去10年間で3件の死亡事故が発生 ⇒4車線から2車線へ合流する交差点部は県平均の約10倍の死傷事故率 ⇒混雑に起因する追突事故が事故全体の8割を占めており安全・安心な交通の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞により患者の安定搬送に支障 ⇒花巻市からの救急搬送は、約5割が北上市へ搬送 ⇒2車線区間は幅員が狭く、緊急車両の走行に支障を来すなど、円滑かつ安全走行の確保が課題
地域の将来像	<p>◆道路環境の充実</p> <p>⇒ 国道4号の山の神・村崎野間はボトルネックとなっていて、慢性的な渋滞がおきているなど、国・県道についても更なる整備が必要</p> <p>【花巻市 まちづくり総合計画】</p>	<p>◆産業振興や交流を支える道路整備</p> <p>⇒物流の効率化など生産性向上による産業振興を支援するため、内陸部と物流拠点である港湾を結ぶ路線や、工業団地、インターチェンジへのアクセス道路など、物流の基盤となる道路の整備を推進</p> <p>【岩手県 いわて県民計画】</p>	<p>◆安全・安心を支える社会資本の整備</p> <p>⇒日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急医療機関へのアクセス向上など地域の実情に応じた道路整備や、冬期間の交通安全対策、通学等の安全確保のため歩道の整備などを推進</p> <p>【岩手県 いわて県民計画】</p>	<p>◆道路・情報ネットワークの充実</p> <p>⇒日常生活の利便性向上や安全・安心な交通を確保するために道路網の形成や冬期交通機能の確保</p> <p>【北上市 総合計画】</p>
関係機関への意見聴取結果	<p>◆全ての関係機関が問題と認識</p> <p>⇒交通混雑の慢性化、対象区間断面での交通容量不足により、交通の円滑性が低下していることを確認した</p>	<p>◆全ての関係機関が問題と認識</p> <p>⇒近年の企業集積の進行等により対象区間周辺では混雑が発生。今後の大手企業の進出により更なる需要の増加が懸念されていることを確認した。</p>	<p>◆関連する関係機関が問題と認識</p> <p>⇒混雑に起因する追突事故が発生していることを確認した。</p>	<p>◆関連する関係機関が問題と認識</p> <p>⇒対象区間の幅員狭小箇所や慢性的な混雑により救急搬送の安定性が低下していることを確認した</p>



政策目標

1. 交通容量の確保による渋滞の緩和

2. 円滑な物流ルートの確保

3. 交通安全の確保

4. 安定した救急搬送ルートの確保

9. ルート帯案の検討（政策目標と対策案）

◆ 政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を以下に整理した。

政策目標

1. 交通容量の確保による渋滞の緩和

2. 円滑な物流ルート
の確保

3. 交通安全の確保

4. 安定した救急搬送
ルートの確保

必要な機能

・ 交通容量不足を解消し、混雑を緩和できるか

・ 工業団地間や高速道路への速達性を確保できるか

・ 事故が少なく安全・安心な交通が確保できるか

・ 安全で円滑な救急搬送が可能になるか

その他配慮すべき事項

・ 地域の環境

・ 地域の土地利用

・ 経済性

9. ルート帯案の検討（評価項目の設定）

- ◆ 政策目標を達成するために求められる機能について整理し、評価項目を設定した。
- ◆ 対策案を検討する上では、地域の環境や土地利用、コストに配慮。

▼評価項目の設定

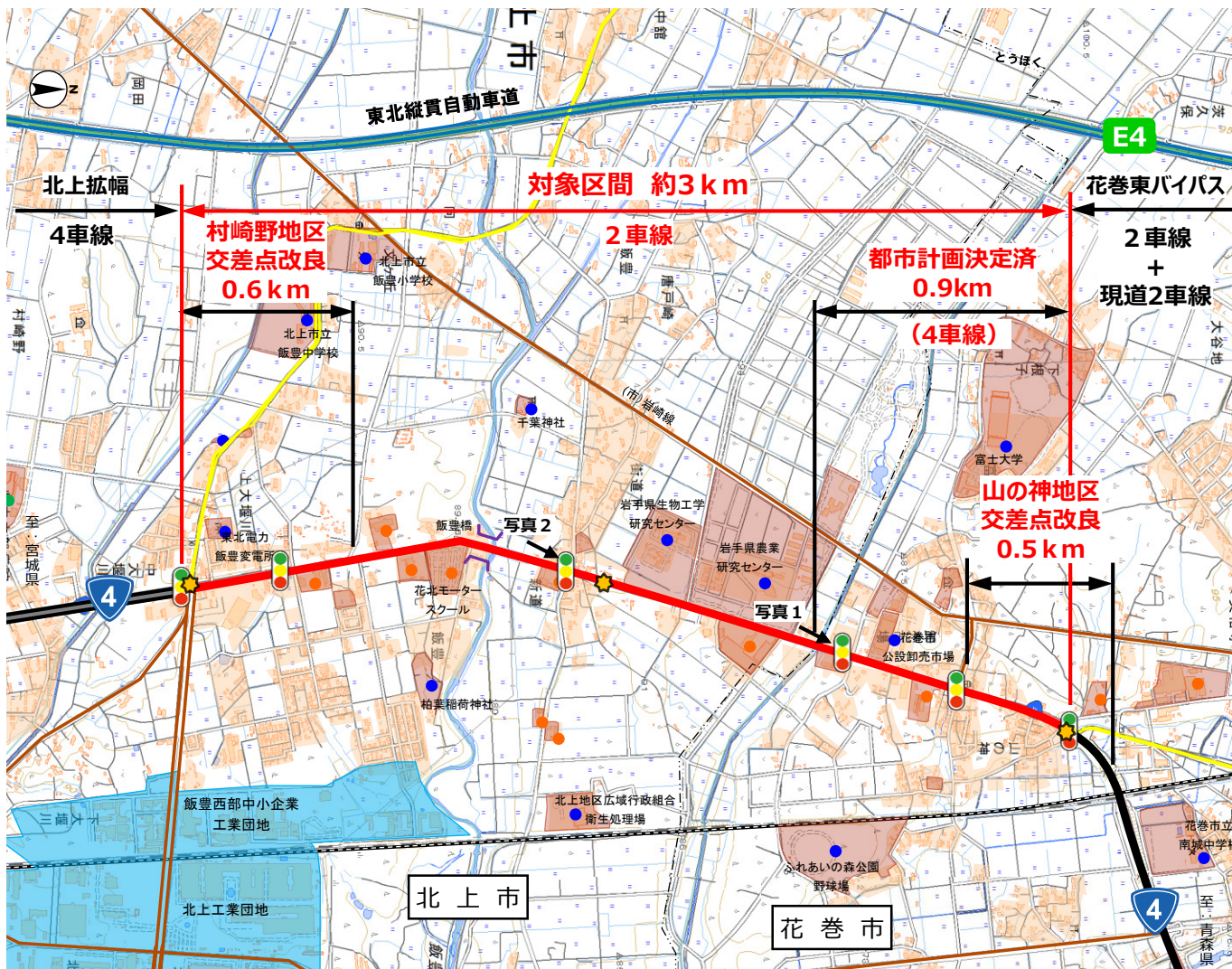
課題	政策目標	求められる機能	評価項目
交通混雑	交通容量の確保による渋滞の緩和	・交通容量不足を解消し、混雑を緩和できるか	・交通容量の確保
企業活動	円滑な物流ルート の確保	・工業団地間や高速道路への速達性を確保できるか	・物流経路の速達性向上
交通安全	交通安全の確保	・事故が少なく安全・安心な交通が確保できるか	・交通事故の低減
救急医療	安定した救急搬送 ルート の確保	・安全で円滑な救急搬送が可能になるか	・救急搬送ルートの 走行性・速達性の向上

▼配慮すべき事項の設定

配慮すべき事項	評価項目
地域の環境	・自然環境や沿道施設への影響について
地域の土地利用	・支障物件等の影響について
経済性	・事業費

9. ルート帯案の検討 (コントロールポイント)

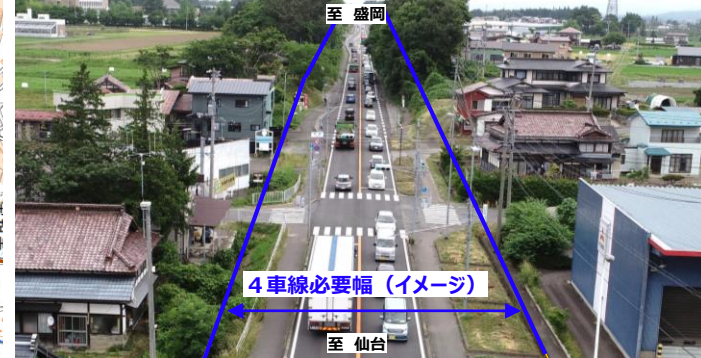
- ◆対象区間内では、2箇所交通安全対策事業を実施中であり、花巻市側は、4車線の都市計画決定がされている。
- ◆周辺の土地利用状況としては、4車線都市計画決定済みである花巻市側は、4車線都市計画幅をセットバックし開発されており、都市計画未決定の北上市側も4車線必要幅には建物が少ない状況。
- ◆一方、国道4号の背後地も開発が進んでいるため、現道を拡幅整備することが周辺への影響を最も抑えることが出来る。



【写真1】都市計画決定済区間(花巻市)



【写真2】都市計画未決定区間(北上市)

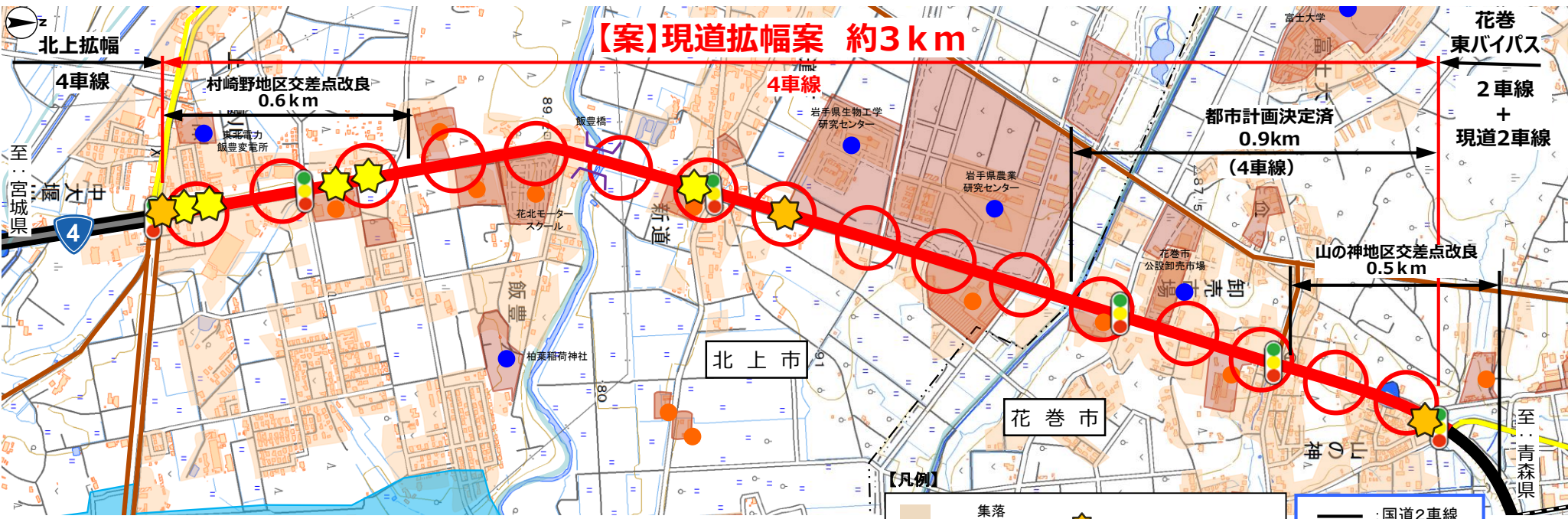


【凡例】

	集落		: 国道2車線
	主要施設		: 国道4車線
	公共施設		: 高速自動車道4車線
	店舗等		: 一般県道
	病院・介護施設		: 市道2車線
	工業団地		: 市道4車線
	事故発生箇所 (死亡事故)		

9. ルート帯案の検討 (現道拡幅案)

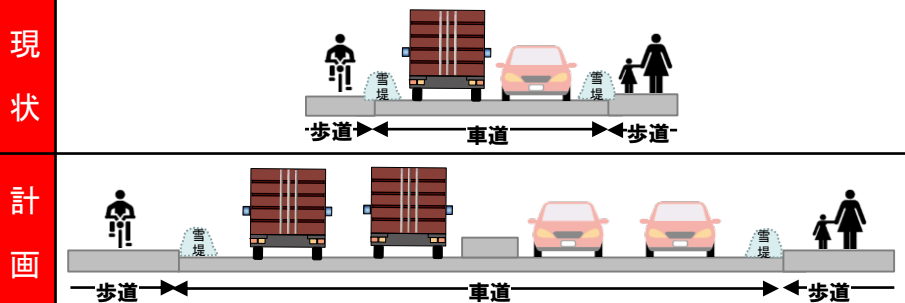
◆全線の4車線拡幅と必要な道路幅員の確保により、交通容量と安全・安心な通行空間を確保するルート。



■ 整備概要

延長	約3km
コスト	約60~70億円

■ 断面図(イメージ)



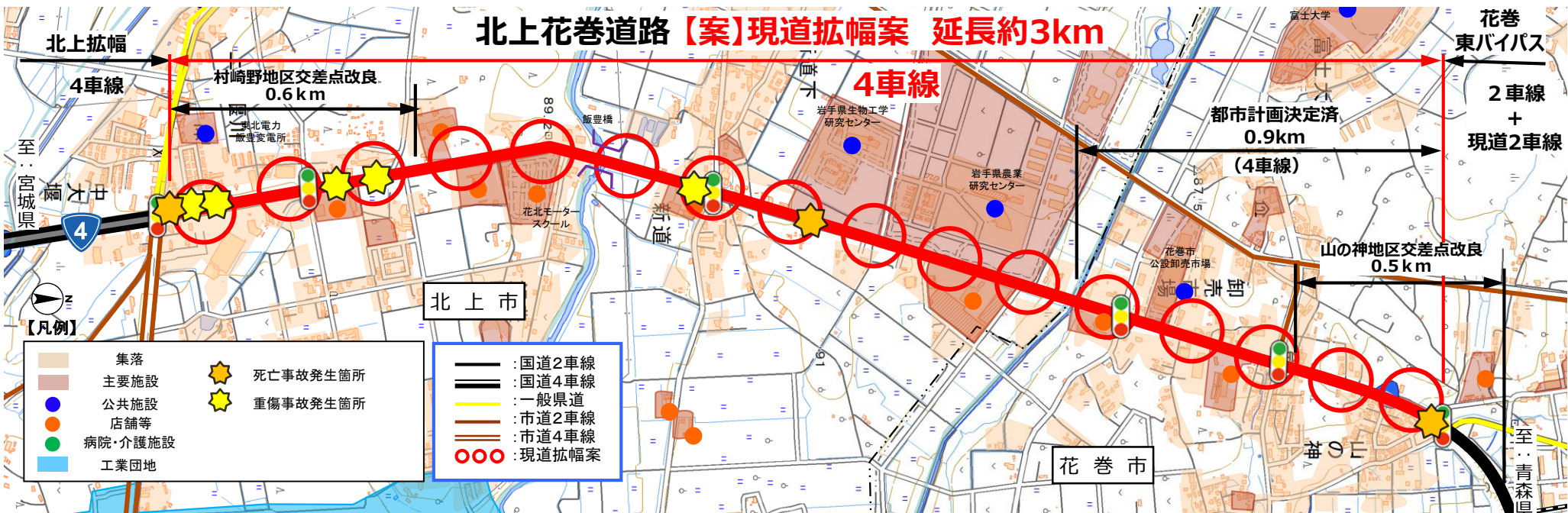
■ ポイント

- ・ 現道を4車線に拡幅することで交通容量を確保し、現道の交通混雑が緩和。
- ・ 必要な道路幅員を確保することにより、冬期の速度向上と救急搬送時の安全で円滑な通行空間を確保
- ・ 前後の整備済区間と4車線で接続することにより、物流経路の速達性向上
- ・ 北上市総合計画で示される「産業活動の向上を図るため、国道4号拡幅の整備を促進する」という方向性が合致し、地域産業の活性化が期待される。

【凡例】

集落	死亡事故発生箇所	— : 国道2車線
主要施設	重傷事故発生箇所	— : 国道4車線
公共施設		— : 一般県道
店舗等		— : 市道2車線
病院・介護施設		— : 市道4車線
工業団地		○ ○ : 現道拡幅案

9. ルート帯案の検討 (対策案の評価)



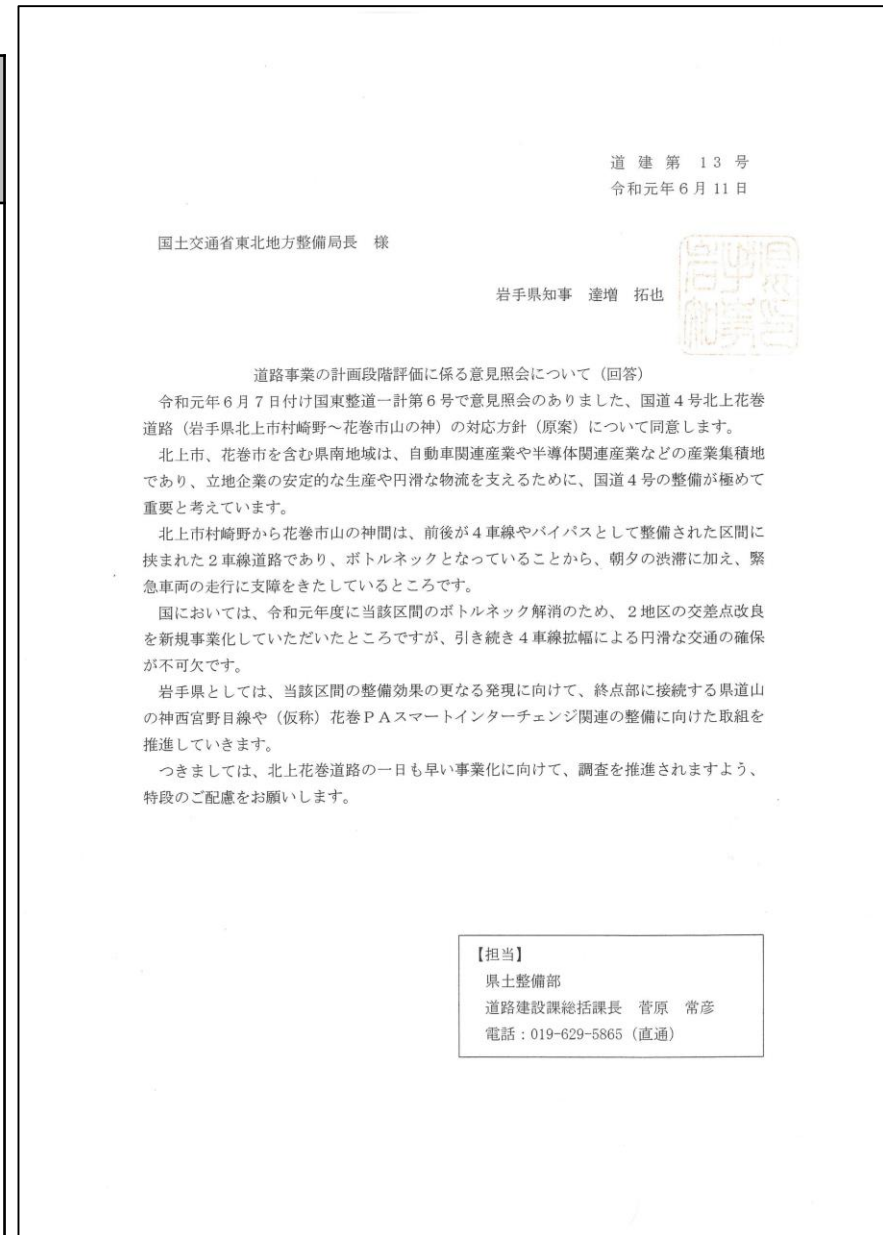
評価項目		現道拡幅案 延長約3km		ソフト施策+交差点改良案 延長約3km	
ルート案の主旨		・全線の4車線幅員と必要な道路幅員の確保により、交通容量と安全・安心な通行空間を確保するルート		・TDM等のソフト施策及び2交差点の改良により、交通需要のコントロールと安全な通行を確保するルート	
政策目標	交通容量の確保による渋滞の緩和	交通容量の確保	○ ・全線の4車線化により、容量が確保され、現道の交通混雑が緩和する	△	・時差出勤、公共交通機関等の利用促進により通勤時間帯の交通混雑は緩和するが、交通容量は変わらないため、抜本的解消にはつながらない
	円滑な物流ルートの確保	物流経路の速達性向上	○ ・交通混雑の緩和により、ボトルネックが解消し円滑な物流ルートが確保され、企業立地や雇用の拡大など、産業発展に寄与	△	・信号制御の高度化※2により交差点部の渋滞は緩和するが、単路部は現状と変わらないため、ボトルネックの抜本的解消にはつながらない
	交通安全の確保	交通事故の低減	○ ・全線の4車線化により、混雑に起因する追突事故が減少する	△	・交差点改良により事業区間内の事故は減少するが、その他の区間は現況と変わらないため、事故の低減にはつながらない
	安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送ルートの走行性・速達性の向上	○ ・必要な道路幅員が確保され、緊急車両の走行性・速達性が向上し、安定した走行が期待される	×	・道路幅員は現状と変わらないため、緊急車両の走行性・速達性は向上しない
配慮すべき事項	地域の環境	自然環境や沿道施設への影響	○ ・整備による騒音環境等への影響は小さい	○	・現況と変わらないため影響なし
	地域の土地利用	支障物件等の影響	○ ・建物(家屋・小屋等)への支障はあるが、沿道の利用形態は変化しないため影響は小さい	○	・現況と変わらないため影響なし
	経済性	事業費※1	- ・約60~70億円	-	・約15~20億円(交差点改良事業)

※1現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある

※2 実測交通量に合わせ、リアルタイムに信号制御を行う方式(MODERATO等)

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
岩手県	<p>国道4号 北上花巻道路（岩手県北上市村崎野～花巻市山の神）の対応方針（原案）について同意します。</p> <p>北上市、花巻市を含む県南地域は、自動車関連産業や半導体関連産業などの産業集積地であり、立地企業の安定的な生産や円滑な物流を支えるために、国道4号の整備が極めて重要と考えています。</p> <p>北上市村崎野から花巻市山の神間は、前後が4車線やバイパスとして整備された区間に挟まれた2車線道路であり、ボトルネックとなっていることから、朝夕の渋滞に加え、緊急車両の走行に支障をきたしているところです。</p> <p>国においては、令和元年度に当該区間のボトルネック解消のため、2地区の交差点改良を新規事業化していただいたところですが、引き続き4車線拡幅による円滑な交通の確保が不可欠です。</p> <p>岩手県としては、当該区間の整備効果の更なる発現に向けて、終点部に接続する県道山の神西宮野目線や（仮称）花巻PAスマートインターチェンジ関連の整備に向けた取組を推進していきます。</p> <p>つきましては、北上花巻道路の一日も早い事業化に向けて、調査を推進されますよう特段のご配慮をお願いします。</p>




■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
北上市	<p>国道4号 北上花巻道路（岩手県北上市村崎野～花巻市山の神）における対応方針（原案）について同意します。</p> <p>当該区間は、北上市～花巻市を結ぶ幹線道路であり、通勤・通学等における交通流動が多い区間です。また、周辺に工業団地が立地していることから物流ルートとして利用されています。しかし、北上拡幅の4車線道路と花巻東バイパスに挟まれた2車線区間であるため、交通のボトルネックとなっており、混雑に起因する追突事故が発生しております。</p> <p>北上花巻道路は、地域連携を支える道路ネットワークの強化、円滑な物流ルート確保、交通安全の確保の観点から4車線拡幅が必要不可欠な道路です。</p> <p>北上市としては、新たな電子部品産業の進出にあわせて、現在、関連企業を含めた工業団地需要に応えるため、北上工業団地をおよそ20ha拡張造成に着手しており、さらなる従業員・交通量の増加を見込んでおります。</p> <p>北上工業団地内の市道について企業進出による交通需要に応えるべく、主要交差点への右折車線設置など、関連道路の整備に努めてまいります。</p> <p>国道4号線は当地のネットワークの大動脈であり、今後も交通量の増加が見込まれております。</p> <p>周辺の道路交通状況を踏まえ、本区間の4車線化は地域の経済発展や地域医療の面において、多大な効果が発現されるものであり、一日も早い4車線拡幅に向け、調査を促進いただきますよう、特段の御配慮をお願いいたします。</p>

31 北道第 431 号
令和元年 6 月 7 日

国土交通省東北地方整備局長
高 田 昌 行 様



北上市長 高 橋 敏 彦

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和元年6月7日付け、国東整道一計第6号で意見照会のありました、国道4号 北上花巻道路（岩手県北上市村崎野～花巻市山の神）における対応方針（原案）について同意します。

当該区間は、北上市～花巻市を結ぶ幹線道路であり、通勤・通学等における交通流動が多い区間です。また、周辺に工業団地が立地していることから物流ルートとして利用されています。しかし、北上拡幅の4車線道路と花巻東バイパスに挟まれた2車線区間であるため、交通のボトルネックとなっており、混雑に起因する追突事故が発生しております。

北上花巻道路は、地域連携を支える道路ネットワークの強化、円滑な物流ルート確保、交通安全の確保の観点から4車線拡幅が必要不可欠な道路です。

北上市としては、新たな電子部品産業の進出にあわせて、現在、関連企業を含めた工業団地需要に応えるため、北上工業団地をおよそ20ha拡張造成に着手しており、さらなる従業員・交通量の増加を見込んでおります。

北上工業団地内の市道について企業進出による交通需要に応えるべく、主要交差点への右折車線設置など、関連道路の整備に努めてまいります。

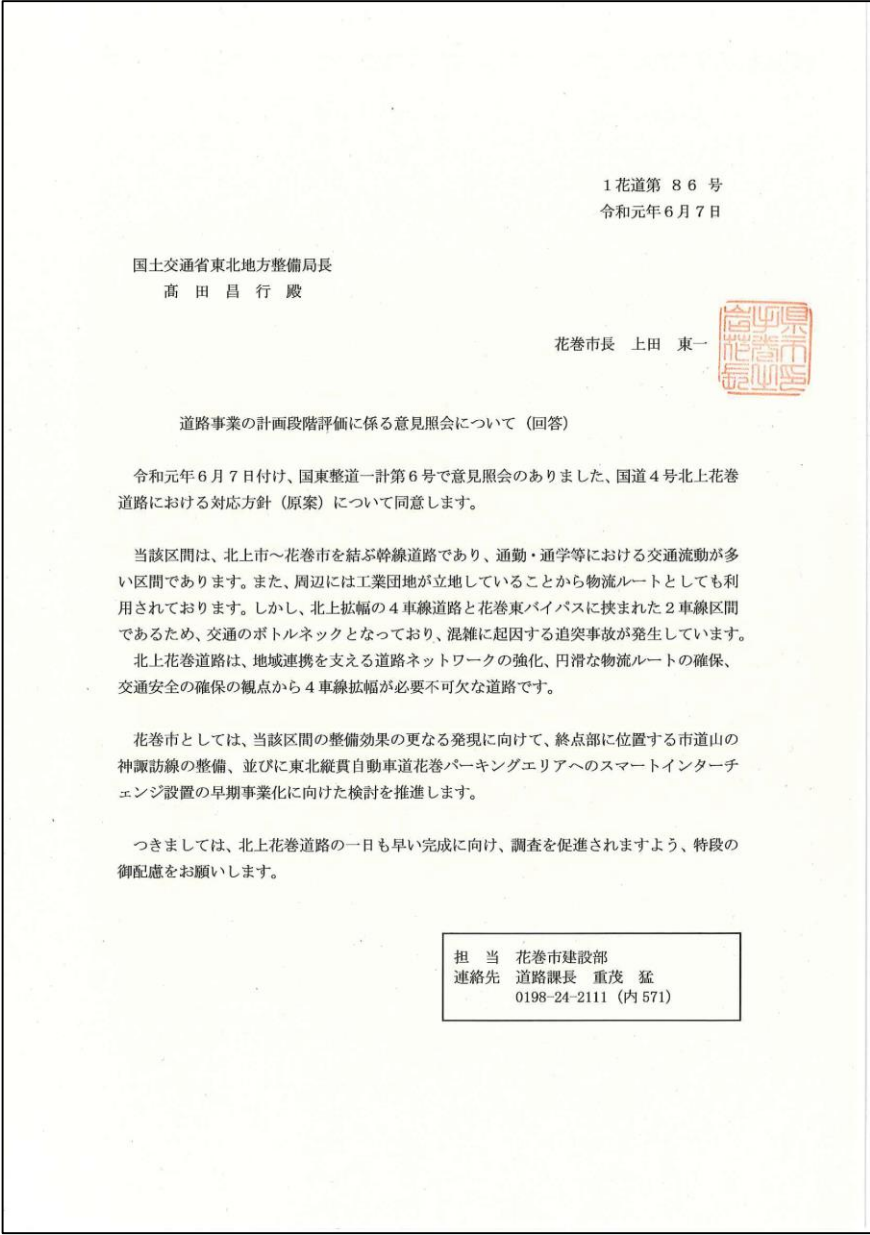
国道4号線は当地の道路ネットワークの大動脈であり、今後も交通量の増加が見込まれております。

周辺の道路交通状況を踏まえ、本区間の4車線化は地域の経済発展や地域医療の面において、多大な効果が発現されるものであり、一日も早い4車線拡幅に向け、調査を促進いただきますよう、特段の御配慮をお願いいたします。

担当 都市整備部道路環境課
課長 鈴木 善 一
電話 0197-64-2111 内線 4210

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
花巻市	<p>国道4号北上花巻道路における対応方針（原案）について同意します。</p> <p>当該区間は、北上市～花巻市を結ぶ幹線道路であり、通勤・通学等における交通流動が多い区間です。また、周辺には工業団地が立地していることから物流ルートとしても利用されています。しかし、北上拡幅の4車線道路と花巻東バイパスに挟まれた2車線区間であるため、交通のボトルネックとなっており、混雑に起因する追突事故が発生しております。</p> <p>北上花巻道路は、地域連携を支える道路ネットワークの強化、円滑な物流ルートの確保、交通安全の確保の観点から4車線拡幅が必要不可欠な道路です。</p> <p>花巻市としては、当該区間の整備効果の更なる発現に向けて、終点部に位置する市道山の神諏訪線の整備、並びに東北縦貫自動車道花巻パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置の早期事業化に向けた検討を推進します。</p> <p>つきましては、北上花巻道路の一日も早い完成に向け、調査を促進されますよう、特段の御配慮をお願いします。</p>



1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- 交通容量の確保による渋滞の緩和
- 円滑な物流ルートの確保
- 交通安全の確保
- 安定した救急搬送ルートの確保



- 対象区間と北上拡幅区間は、交通量が増加傾向であり、対象区間は前後区間と比べ高い混雑度。また、南北軸を断面として評価しても断面の交通量が断面合計の交通容量を超過しており、当該区間が交通のボトルネックとなっており、**渋滞の緩和が図られる道路の整備**が必要。
- 対象区間は、南北方面に製品を輸送する際の物流ルートとして利用されているが、輸送ルート上問題が多い区間として利用企業から指摘されており、4車線化、混雑解消、移動時間短縮など、**円滑な交通が確保された道路**の整備が必要。
- 対象区間の国道4号では死傷事故が多発しており、最も高い箇所では死傷事故率が県平均の約10倍の箇所が存在するなど、**走行時の安全性が確保される道路**の整備が必要。
- 花巻市における救急搬送先では、全体の約5割が北上市の病院へ搬送されており、年間の救急出動件数も増加傾向にあるが、当該区間は2車線区間で幅員が狭く、緊急車両の走行に支障をきたすなど、**円滑かつ安全走行の確保された道路**が必要。

2. 対応方針（案）

①計画及びルート帯案（計画延長約3km）

全線の4車線拡幅と必要な道路幅員の確保により、交通容量を拡大し、渋滞の緩和による円滑な物流の確保、安全・安心な通行空間の確保、安定した救急搬送ルートの確保が図られる現道拡幅案とする。

- (理由)
- 起点・終点側が交通安全対策事業に着手済であること、花巻市側は、4車線の都市計画決定済み。4車線都市計画決定済みである花巻市側は、概ね都市計画幅をセットバックして開発されており、都市計画未決定の北上市側も4車線必要幅を空けて開発されていること、周辺は国道4号沿線の奥まで開発が進んでおり、バイパスの新設が困難な状況であることを考慮し、現道拡幅案とする。
 - 現道拡幅ルートにより、地域の課題を解決するための政策目標「交通容量の確保による渋滞の緩和」、「円滑な物流ルートの確保」、「交通安全の確保」、「安定した救急搬送ルートの確保」を達成。

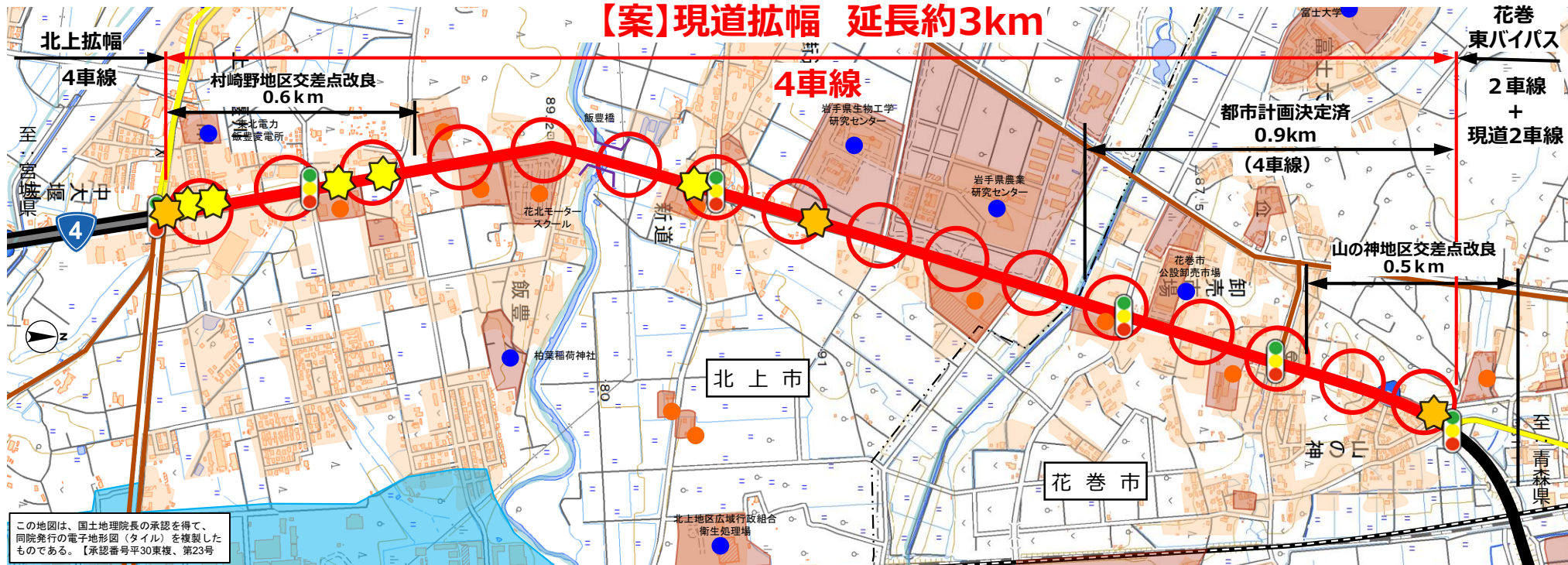
3. その他

- 具体の道路構造等の検討に際し、生活環境の保全、自然環境の保全、コスト縮減等にも配慮する。

◆計画及びルート帯案については、全線の4車線拡幅と必要な道路幅員の確保により、交通容量を拡大し、渋滞の緩和による円滑な物流の確保、安全・安心な通行空間の確保、安定した救急搬送ルートの確保が図られる現道拡幅案とする。

北上花巻道路

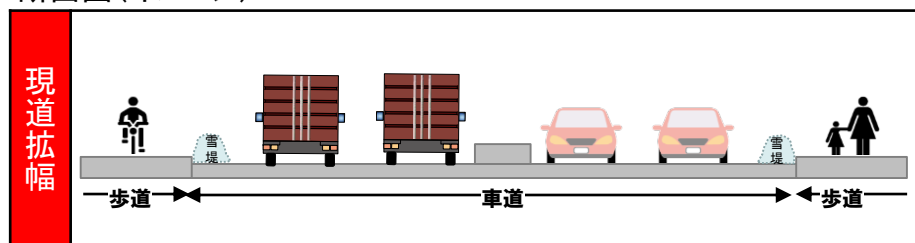
【案】現道拡幅 延長約3km



【凡例】

	集落		死亡事故発生箇所		国道2車線
	主要施設		重傷事故発生箇所		国道4車線
	公共施設				一般県道
	店舗等				市道2車線
	病院・介護施設				市道4車線
	工業団地				現道拡幅案

断面図（イメージ）



計画段階評価

都市計画

今回

東北地方小委員会
【令和元年6月14日】

関係団体ヒアリング

- 計画段階評価の進め方（案）
- 地域の概況と課題
- 地域に配慮すべき事項
- 道路・地域の課題とその要因
- 地域の将来像
- 政策目標の設定
- ルート帯案の検討
- 自治体への意見照会
(岩手県、北上市、花巻市)
- 対応方針（案）の検討

対応方針の決定（概略ルート、構造等）

詳細ルート・構造の検討

都市計画手続き

■ 都市計画案の説明会

■ 公聴会

■ 意見聴取

■ 都市計画審議会

■ 公告・縦覧

新規事業採択時評価

地方小委員会